

東洋学藝雑誌

近代日本初の“総合学術雑誌”

イギリスの啓蒙科学雑誌 *Nature* を範として創刊され、同誌から「東洋の *Nature*」と評価された。近代日本の学術・思想界半世紀に君臨、とくに欧米文化受容の主導的役割を担ったものとして最も重要な雑誌
全 567 号を収録

全 **567** 号
[1881~1930]
[明治14~昭和5]

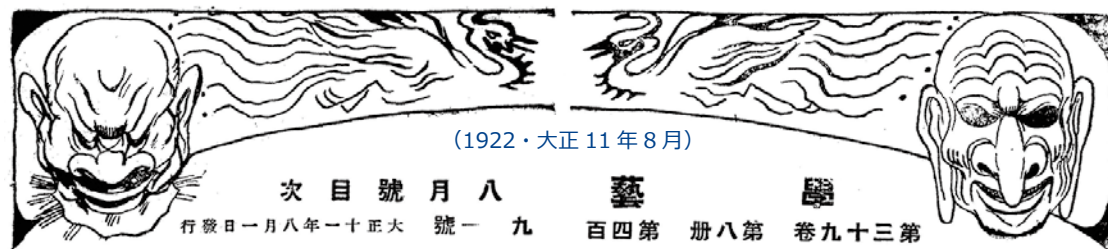
〈自然・人文・社会科学〉
近代日本の学術を牽引した
世界に誇る
知のアーカイブ

学術資料出版
大空社出版

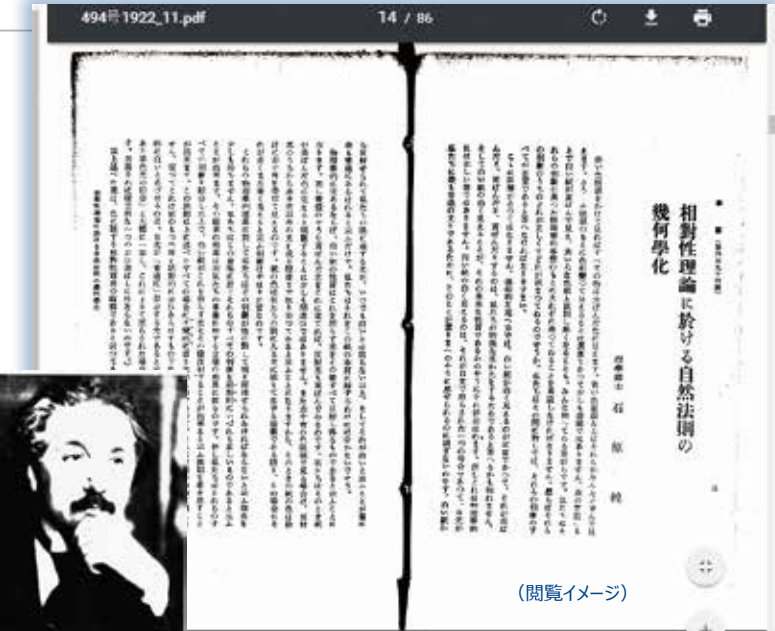
(2023.11)

我邦人ノ理學ノ思想ニ乏シキハ識者ノ
常ニ憂フルトコロナリ故ニ之ヲ救フ
カ爲ニ此雑誌ニ理學ニ關係アル文章ヲ
掲載シテ其性質及ヒ功用ヲ世ニ明セ
ンヲ力メタリ固ヨリ詰屈シ難キコ
トヲ此雑誌ノ讀ミ難キト雖モ世
ホ或ハ此雑誌ノ讀ミ難キト雖モ世
ナキニ非ス因テ更ニ其區域ヲ廣メ文藝
上ニ渉レル平易ナル文章ヲモ
ヘ甘苦相半ナラシメ以テ世人ノ望ニ負
ク無キヲ期スト云爾

(明治14年10月)



目次	
◎ 波の音……………	寺田寅彦 (ハニ)
◎ 海濱植物の生態……………	三好 學 (ハニ)
◎ 昆虫界の王者蜻蛉に就て……………	松村 年 (ハニ)
◎ 風景の混濁……………	石 津 利 作 (ハニ)
◎ 山岳成因論より観たる北日本アルプス……………	臨水 鐵五郎 (ハニ)
◎ 日蝕の原因……………	武田 久吉 (ハニ)
◎ 天上の花園……………	佐々木忠次郎 (ハニ)
◎ 露見の種類……………	大森 房吉 (ハニ)
◎ 震原位置測定の方法……………	山内 繁雄 (ハニ)
◎ 美人系……………	吉 江 弘 隆 (ハニ)
◎ スキスの旅……………	妹 尾 秀 實 (ハニ)
◎ 土用浪……………	白井 光太郎 (ハニ)
◎ 日光赤沼原の御花畑……………	三田 定 則 (ハニ)
◎ 組織及血液反應の調節……………	宮城 晋五郎 (ハニ)
◎ 自然の威力の征服……………	柴田 雄次 (ハニ)
◎ 電子的原子價説……………	三 好 學 (ハニ)
◎ コングエンツ博士を悼む……………	高 峰 博 (ハニ)
◎ はにかみの變態心理……………	佐々木 秀一 (ハニ)
◎ 言語と語原……………	松村 敬 照 (ハニ)
◎ 海外雜俎……………	石 井 重 美 (ハニ)
◎ 寄生去勢の現象……………	田中 館 秀三 (ハニ)
◎ 伊太利移民の現状ノ其地理學的考察……………	里 田 はつ 三 (ハニ)
◎ 場の生活……………	工 學 士 瀬 藤 象 二 (ハニ)
◎ 日本の水力電氣……………	工 學 士 小 坂 羽 二 (ハニ)
◎ 新發明と新發見……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)
◎ 理想的穀蠹劑の製法……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)
◎ 富士湖水地方名所廻り……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)
◎ 帝國學士院記事……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)
◎ 震災豫防調査會記事……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)
◎ 學會記事……………	工 學 士 雨 宮 育 作 (ハニ)



(閲覧イメージ)

総 **35,000** ページ



(大空社 2011 年 2 月刊)

広汎な分野・テーマ

主な寄稿者

総約 850 人より抄出

* 分野 / 人名 50音順。分類は参考

DVD-ROM

学術史上の各領域に輝く錚々たる執筆陣
歴史に残る重要著述が網めじろ押し！

☆学術組織・団体・研究者の動向を記録する記事を毎号掲載

医学・医師・医事

青山胤通 東竜太郎
石原喜久太郎 稲田竜吉(内科)
入沢達吉(内科・医史学)
宇田川興斎・松庵 宇野朗
大角真八 樫村清徳
桂秀馬(外科) 河本重次郎(眼科)
隈川宗雄 呉秀三(精神医学)
小泉丹(寄生虫学) 駒井卓(遺伝)
佐々木政吉(内科)
佐藤三吉(外科) 篠達喜人(遺伝)
島岡順次郎(内科)
杉田直樹(精神医学)
瀬川昌耆(小児科) 高木逸庵
高田蒨 田口和美
田代義徳(整形外科)
田中義彦(遺伝) 照内豊
土肥慶蔵(皮膚科)
外山龜太郎(遺伝)
中浜東一郎 額田豊(内科)
橘瓜檳榔子 浜田玄達
弘田長 富士川游(医史学)
藤浪剛一(放射線)
三浦謹之助(内科) 三宅秀
宮下俊吉 村瀬雄平
矢部専之助

英語・英語教育

井上十吉 岡倉由三郎
神田乃武
坪井次郎
遠山椿吉 戸田正三
矢崎芳夫 横手千代之助

音楽

兼常清佐
神津専三郎 田中正平
田辺尚雄 山内盛彬
飯盛里安
石津利作(楽道) 石藤豊太
磯野徳三郎 大幸勇吉
尾形輝太郎 小川正孝
久原躬弦(有線) 久保田勉之助
小松茂 桜井錠二
桜井季雄 柴田雄次
高松豊吉(応用) 田中芳雄
田丸節郎 近重真澄
永海佐一郎 中沢岩太(応用)

化学

仁田勇 細木松之介
真島利行 松井直吉
松野吉松 松原行一
策作新六 安田又一
吉田彦六郎 吉武栄之進
大谷亮吉
菅井準一 矢島祐利

科学史

菅井準一 矢島祐利
官僚・政治家
木内重四郎 阪谷芳郎
末松謙澄 添田寿一
渡辺洪基
岡田武松
国富信一 佐木虎士
下野信之 関口鯉吉(天文学)
中村精男 藤原咲平
和田雄治(海洋)

教育

浅野孝之
池岡直孝(倫理) 伊沢修二(音楽)
小笠原道生(体育)
菊池謙二郎 倉橋惣三
後藤孝太 小林栄
幣原坦(官倫) 高津謙三郎(国文学)
千頌清臣(官倫) 田中寛一(心理学)
谷本富 中川元(官倫)
永田方正(アイヌ)
新渡戸仙岳(郷土史)
日高真実 松下丈吉
山路一遊 渡部董之介

経済・財政・商業・実業

浅原源七 岡田誠一
金井延 神戸正雄
嵯峨根不二郎
佐藤弘 土子金四郎
平沼淑郎 松崎蔵之助
元良勇次郎 和田垣謙三

建築

石井敏吉
石原憲治 伊東忠太
内田祥三 岸田日出刀
佐野利器 辰野金吾
大熊喜邦 佐藤功一
塚本靖 中村達太郎

工学

浅川権八(機械)
大河内正敏 桂井三(金属)
小坂狷二(エスペラント)
斯波忠三郎 清水清
白石直治(土木)
田辺朝郎(土木) 俵国一(金属)
栖原豊太郎(機械)
中山秀三郎(土木)
野呂景義(金属)
二見鏡三郎(土木)
古市公威(土木) 真野文二(機械)
宮城音五郎(機械)
村上武次郎(金属)
工業・鉱業 岩佐巖(鉱業)
巖谷立太郎 喜多源逸(化学)
仙石亮 手島精一(教育)
的場中 渡辺渡

鉱物

伊藤貞市
大谷寿雄 和田維四郎

国文学・国語学・国学

上田万年 大槻文彦
木村正辞 金田一京助
久米幹文 黒川真頼
小中村清矩 新村出
高野辰之 中邨秋香
物集高見 保科孝一
武藤元信 和田万吉(図書館)

昆虫

石井梯
江崎悌三 佐々木忠次郎
土田都止雄 名和靖
松村松年 三宅恒方
八木誠政 矢野宗幹

細菌・衛生

緒方正規 谷口腆二
外国文学 後藤末雄(仏)
吉江喬松(仏) 山岸光宣(独)

地震

石本巳四雄
大森房吉 関谷清景
松沢武雄

思想・啓蒙・哲学

井上円了 井上哲次郎(倫理)
内田周平(中国) 加藤弘之
狩野亨吉 杉浦正臣(洋学)
清野勉 津田真道(洋学)
戸坂潤 中島力造(倫理)
中村正直 西周 西村茂樹
根本通明(哲学) 三宅雄二郎

社会

安部磯雄
大江敬(新聞) 鈴木寿太郎
外山正一(文学・教育行政)
石本静枝(産児制限)

写真

建部逐吾(政治家) 山本宣治
石川巖 生田益雄(化学)

宗教・神話

姉崎正治
境野哲(仏教) 高橋順次郎(印度学)
松村武雄

植物

池野成一郎
石川光春 伊藤圭介(蘭方医)
伊藤篤太郎 乾環
大久保三郎 大野直枝
小倉謙助 川村清一
草野俊助 桑田義備
郡場寛 向坂道治
坂村徹(生理学) 柴田桂太(生理学)
白井光太郎 武田久吉(登山家)
徳川義親 中井猛之進
中野治房 服部広太郎
早田文蔵 日比野信一
藤井健次郎(遺伝)
堀正太郎(生理学)
本田正次 松島種美
松村任三 真保一輔
宮部金吾 三好学

保井コノ 矢田部良吉(詩人)
山内繁雄 山口弥輔
山羽儀兵

心理

淡路門治郎
今田恵 内田勇三郎
小保内虎夫 久保良英
桑田芳蔵 中島泰蔵
野上俊夫 増田惟茂
松尾長造 松本亦太郎
元良勇次郎

人類・考古

足立文太郎
小金井良精(解剖)
坪井正五郎 鳥居竜蔵
浜田耕作 松村瞭
若林勝邦

水産

雨宮育作 岸上鎌吉

数学

蘆野敬三郎
浦口善为 遠藤利貞(和算)
掛谷宗一 菊池大麓(教育行政)
呉文聡(統計) 高木貞治
竹内端三 辻正次
林鶴一 藤沢利喜太郎
藤原松三郎 三上義夫
柳原吉次 吉田洋一

政治・政治家

大鳥圭介 小野塚喜平次
杉浦重剛 鳩山和夫(弁護士)

生物

石井友幸(進化論)
内田恵太郎(魚類)
岡田要之助(土壤)
石井重美 篠原雄(化学哲学)
早坂一郎(古生物)
松原新之助(水産学)
南方熊楠(民俗学)
武藤留之助 山名邦治

生理学・生化学

石川一男 内山孝一(医史学)
浦本政三郎 大沢謙二
柿内三郎(生理学)
加藤元一 酒井卓造
永井潜 橋田邦彦
三坂和英 谷津直秀
造船 末広恭二 寺野精一(航空)
平賀譲 山本武蔵
横田成年

地質

菊池安(鉱物)
坪井誠太郎(鉱物)
横山又次郎(古生物)
小川琢治(地理)
小沢儀明 巨智部忠承
小藤文次郎 神保小虎(鉱物)
坪谷幸六 津屋弘達
福地信世(舞踊作家)
藤本政義 脇水鉄五郎(土壌)

地理

秋岡武次郎
今村学郎 岡本監輔(北方探検)
多田文男 田中館秀三(地質学)
辻村太郎 山崎直方
通信技術 木村駿吉
鉄道 大江武男
電気工学 伊藤奎二
鯨井恒太郎 沢井康
志田林三郎 渋沢元治
瀬藤象二 立原任
中野初子 藤岡市助
密田良太郎 山川義太郎
難波正

天文

上田穰 及川奥郎
神田茂 早乙女清房
新城新蔵 寺尾寿
平山清次 平山信
山本一清

動物

大島広
飯島魁 飯塚啓
石川千代松 岩川友太郎
内田清之助(鳥類)
丘浅次郎 丘英通
鎌木外岐雄 川村多実二
須藤義衛門(獣医)
田中茂徳

谷田部良吉「羅馬字ヲ以テ日本語ヲ綴ルノ説」(1882)

小山正太郎「書ハ美術ナラス」(1882)

岡倉覚三「書ハ美術ナラスノ論ヲ読ム」(1882)

村岡範為「魔鏡ノ解」(1883)

菊池大麓「理学之説」(1884)

外山正一「女子の教育を論じ併せて耶蘇教拡張の法を説く」

伊沢修二「楽器ノ話」(1887)

関谷清景「地震動の性質を示す雛形」(1888)

坪井正五郎「帝国大学の隣地に貝塚の跟跡有り」(1889)

重野安繹「我邦古来ノ憲法及大学ノ景況」(1889)

石川千代松「自然ニ於ケル人類ノ地位」(1891)

末松謙澄「宗教の分界」(1892)

田中館愛橘「電気振動」(1892)

大森房吉「余震 After Shocks ニ就キテ」(1894)

長岡半太郎「レントゲン氏の大発見」(1896)

島田幸三郎「蛍ノ仔虫」(1897)

長岡半太郎「第十三回万国測地学協会総会報告」(1901)

小金井良精「日本石器時代の住民」(1903)

坪井正五郎「日本石器時代人民論」(1903)

オリバー・ロッチ「最近の物質観」(1903, 1904)

南方熊楠「童話の研究」「飛行機の創製」ほか(1904-15)

木村正辞「支那国号の由来」(1905)

後藤牧太「千里眼婦人の実験について」(1910)

中村清二「明治四十四年二月二十二日東京帝国大学理科大学に

於て福来博士と余との千里眼に関する会談」(1911)

長岡半太郎「ニュートン祭に寄せたる書状」(1911)

「タゴール氏の講演(要旨、於・東京帝国大学)」(1916)

寺田寅彦「原子核に就て」(1918)

「デュイ教授(公開講演題目、於・東京帝国大学)」(1919)

「学術研究事業遂行国際組織に関する聯合諸国会議」(1919)

(アインシュタイン来日特集号) 石原純ほか相対性理論に関する論文6本掲載(1922)

「帝国学士院記事 アインシュタイン教授歓迎会」(1923)

「第三回汎太平洋学術会議」(1926)

戸坂潤「科学の歴史的社会的制約：その綱領」(1930)

.....

津野慶太郎(畜産) 寺尾新

福井玉夫 増井清(畜産)

松本彦七郎 箕作佳吉

美濃部照 宮島幹之助

三坂和英 谷津直秀

渡瀬庄三郎

農業・農学 稲垣乙丙

遠藤保太郎(養蚕)

岡崎桂一郎(米食史)

古在由直(農芸化学) 酒匂常明

鈴木梅太郎(栄養化学)

田中長三郎 玉利喜造

永井威三郎 福羽逸人

森要太郎 横井時敬

吉村清尚 横畑護

博物 田中芳男

美術・工芸 紀淑雄

岡倉覚三(思想)

小山正太郎(洋画)

沢口悟一(漆) 滝精一

武井武雄(国画)

細木原青起(漫画・挿絵)

森谷延雄(家具)

森田鑑 藤浪鑑

三浦守治 山極勝三郎

物理 愛知敬一(理論物理)

池田菊苗(化学) 池田常刀(工学)

小倉伸吉(海洋) 小幡重一

糟谷宗資 片山正夫(化学)

亀高徳平(化学) 木内政蔵

木下季吉 日下部四郎太(地球)

桑木或雄(科学史) 三枝彦雄

酒井明 志田順(地球)

島田幸三郎 清水武雄

竹内時男 田中館愛橘

玉城嘉十郎 玉虫文一(化学)

田丸卓郎 坪井忠二(地球)

鶴田賢次 寺田寅彦

中川重麗 中村清二

長岡半太郎 西川正治

仁科芳雄 本多光太郎(金属)

松山基範(地球) 水野敏之丞

村岡範為 谷田部梅吉

山川健次郎(教育)

文学・小説・演劇

有島武郎 坪内逍遙

松原至大(電話)

南部修太郎 源綱紀(筆記)

望月秋太郎 若月保治

法律・法学

有賀長雄(公法)

合川正道 一瀬勇三郎

梅謙次郎(南法)

片山国嘉(法医学)

木下広次(教育) 末岡精一

寺尾亨(国際) 富井政章(民法)

土方亨 鳩山秀夫(民法)

穂積重遠(民法) 穂積陳重

穂積八束(憲法)

松波仁一郎

三田定則(法医学)

宮崎道三郎 森莊三郎(保険)

薬学 近藤平三郎

下山順一郎 高橋順太郎

丹波敏三

林業・林学・造園

上原敬二 鏑木徳二

河合太郎 川瀬善太郎

志賀泰山 白沢保美

土井藤平 新島善直

本多静六 三浦伊八郎

三村鐘三郎

歴史・漢学 大類伸(西洋)

喜田貞吉 黒板勝美

沢田吾一 重野安繹

島田重礼 田中義成

辻善之助 坪井九馬三

内藤耻叟 羽田亨(東洋)

原勝郎 星野恒 三浦周行

三上参次 水原準三郎(暦)

策作元八(西洋)

三宅米吉(考古) 村上直次郎

森槐南 山上八郎(甲骨)

渡辺世祐

(外国人)

アインシュタイン

ヴァイスマン(動物)

クレブシュ(物理)

ゴールドシュミット(遺伝)

コレンス(植物・遺伝)

ゾンマーフェルト(物理)

チャンプレン(日本学)

デニング(教育)

ナトホルスト(古生物学)

ノット(物理)

プランク(量子論)

フレミング(物理)

ベנק(地理・地質)

ポアンカレ(数学・物理)

ユーイング(物理・地震)

リンデマン(物理化学)

ローレンツ(物理)

.....

東洋学芸雑誌

DVD-ROM

全1枚

近代日本の学術・思想界の流れを知るうえで、
とくに欧米文化受容の動態を跡づけるものとして、
最も至要な雑誌全号を収録。

【収録内容】東洋学芸雑誌（東洋学芸社、東京社）→「学芸」（東京社）
→「東洋学芸雑誌」（興学会） 全 567 号・総約 35,000 ページ

《特色》

- ① 日本の近現代学術研究史上の各領域の重要論文を多数掲載する。
- ② 文学では初期の翻訳・新体詩形成の重要文献を掲載、思想では進化論受容の主導的役割を担った。従来、自然科学誌と目されていたが、広義の“科学”総合雑誌を目指した稀有な雑誌だった。
- ③ 学術組織・団体・研究者の動向を記録する記事を毎号掲載する。
- ④ 原誌の一部を所蔵する研究機関・図書館は多数あるが、全号を揃える機関は皆無に等しい貴重かつ稀少資料である。
- ⑤ 全 567 号が 1 枚に収まり、容易に目的の記事にたどり着ける。



（大空社 2011 年 2 月刊）
ISBN978-4-283-00778-9

価格（本体 75,000円＋税）

【仕様】

- (1) 原寸大モノクロ画像（見開き 2 ページを 1 コマ）
- (2) ファイル形式 PDF（Windows/Macintosh どちらでも可）
- (3) 「巻号（発行年月日－執筆者）」「執筆者（50 音順配列、掲載巻号－発行年月日）」の 2 種の「索引」（html 形式）で目的の号へ直接ジャンプ可。「執筆者索引」は論文執筆者・投稿者・記事記名者をすべて採録した詳細なもの。

*書店では扱っておりません。お問い合わせ、お申し込みは下記へ。（専売）国内販売元

学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

東京都北区中十条 4-3-2
（〒114-0032）
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigy@ozorasha.co.jp



パンセ
学術図書販売(株)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-1-4 オフィス下山手 3B
TEL 078-945-7835 FAX 078-945-7886



0120-518-521

E-Mail: contact@tosho-pensee.com https://www.tosho-pensee.com